

「生命科学・医学系研究に関する情報公開文書」

研究機関名：東北医科薬科大学病院

受付番号	2021-2-176
倫理審査（初回審査）	西暦2022年1月4日
研究課題名	胆嚢炎時のCRP/WBCによる手術難易度評価
研究の対象	東北医科薬科大学病院において、下記調査データ該当期間内に腹腔鏡下にて胆嚢摘出術を施行した胆嚢炎発症患者さん
研究の目的・方法	胆嚢炎を発症したときの胆嚢摘出術は難易度が高く。手術前に胆嚢炎時の腹腔鏡下胆嚢摘出術の難易度を予測することは、患者の安全および患者へのリスクの説明などを含め手術のアセスメントなど多くの面で重要である。しかし、術前に画像診断から予測するのは困難であり、様々な評価が行われている。そこで、本研究では胆嚢炎時の腹腔鏡下胆嚢摘出術の難易度を術前に評価できる因子を検討する。 研究予定期間：承認日～2022年12月31日
調査データ該当期間	2018年1月1日から2021年6月30日
研究に用いる試料・情報の種類	情報（年齢、性別）、BMI、手術既往、手術所見、手術時間、出血量、術前の血液検査、画像診断所見
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者もしくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、研究対象者に不利益が生じることはありません。 【照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先】 〒983-8512 仙台市宮城野区福室1-12-1 022-259-1221（代） 肝胆膵外科 片寄 友

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先：上記「お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 第9章第20の1(3)＞

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

当院が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、当院の職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。 診療情報に関する

保有個人情報については、東北医科薬科大学病院 医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「個人情報保護方針」をご覧ください。

【東北医科薬科大学病院 個人情報、患者さんの権利】

http://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/info/privacy_policy.html

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 第9章第20の2(1)＞

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合